

長岡京吟詠会吟剣詩舞大会 吟士権大会開催！！

本年度は令和5年11月5日に吟剣詩舞大会と吟士権大会を合わせて開催されました。儀部賀堂宗家も遠路お越しいただき、はじめから最後までご鑑賞いただき、最後に大会への祝辞と吟をご披露いただきました。

プログラムは、競吟一部(無級～奥伝)、競吟二部(師範代・四段～)、競吟和歌・俳句の部と、会員吟詠1(無級～奥伝)、会員吟詠2(師範代・四段～)そして剣・詩舞の披露と続きました。

今回は競吟が組まれたため、例年より緊張感があり、熱気あふれる大会となりました。



吟士権大会一部優勝者の声 山本義徳さん

この度競吟一部で1位になれましたこと大変嬉しく思っております。初伝をいただいてからかなりの年月が経ちますが、その間詩吟の練習は殆どやってなかったのに、今回詩吟の先輩でもある妻から「次の大会で競吟出てみない」と声をかけられ、ふと出てみたくなりました。大会当日まで2ヶ月あまりありましたので、これから毎日練習すれば覚えられると思って練習を始めました。しかし譜節や人山は難しかったです。毎日の稽古や努力がいかに大事か痛感しました。

吟士権大会二部優勝者の声 尻枝賀秀道さん

競吟二部に出場させていただきました。最後まで緊張しながらの吟詠でしたが、優勝することができうれしく思っています。この優勝が私のこれからの吟詠に強い動機付けになったと思います。

今後のいろいろなコンクールに挑戦し、自分の吟をもっと向上させるように勉強をしたいと思っております。

長年にわたりご指導いただいた中塚先生に良いご報告ができたことをうれしく思っています。

吟士権大会和歌・俳句優(同点で2名が優勝) 勝者の声 市丸賀秀知さん

和歌・俳句の部で山内さんとともに同点優勝ができて喜んでいます。和歌は優しいようで難しい譜節も多くありますが、漢詩と違って日常使う言葉を使って詠うので、聞いている方も内容が理解しやすく、私は和歌が好きです。今回の和歌・俳句の部では出場者が5人というのは和歌のファンとしては寂しい限りです。もっともっと、どんどん出て競ってほしいなあと思います。

吟士権大会和歌・俳句優(同点で2名が優勝) 勝者の声 山内賀秀音さん

和歌・俳句の部で優勝できたこと、本当にうれしく思います。私は人前で吟じることが苦手ですが思い切って出吟させていただきました。これも「たちばな詩吟クラブ」の高橋(周)先生をはじめ、諸先生方のおかげだと感謝しています。これからも楽しみながら勉強して少しずつ前に進んでいきたいと思っております。

【歴史探訪】終えて！！

11月10日(金)、雨予報100%にも怯まず25名の参加者でスタートしました。

最初の訪問地「楠公公園」につく頃は小雨になり、歴史資料館の職員さんやふるさとガイドさんの丁寧なご案内をいただきました。

その次に訪れた「さくらであい館」では、その昔、三十石船で八幡山崎を通過するときに詠まれた漢詩2題をみんなで合吟し、その後の昼食交流会では「顔と声と人柄」がくみ取れる一人一人のスピーチに興奮した6時間でした。



(探訪係)

歴史探訪に参加して その1

4年ぶりの「歴史探訪」。とても楽しませてもらいました。近くにいながら気づかなかった「桜井駅跡史跡」や「淀



「さくらであい館」展望塔

川の三川合流域『さくらであい館』を訪れ、みんなで合吟。食事会では和気あいの楽しい時間でした。次回の歴史探訪には、もっと多くの方のご参加をお待ちしています。

本庄賀秀峰

R5/12月・R6/1月の予定

- 12/17(日)【近畿少壮吟士吟詠チャリティサイタル】
- 12/25(月)【長岡天満宮正式参拝】
- 1/20(土)【令和6年度京都府連・府総連新年懇親会】
ホテルオークラ京都 (広報部)

歴史探訪に参加して その3

私は初めて「歴史探訪」に参加しました。「歴史探訪」の意義は何かを考えてみました。吟題に取り上げられるものには我が国の史跡遺産が多々あります。吟を深めていくにしたがってもっと知りたいという欲求が出てきたのではないのでしょうか。“詩を吟じるには、まずその詩を知るべし”、まさに吟則の精神を地で行く発想と思います。私は、酒が大好きで奇行の多かった李白の「白帝城」が大好きです。最初の2~3年は詠うことに四苦八苦しましたが、少しできるようになると実際に「白帝城」に行ってみたくなりました。今回は、小雨にもかかわらず、距離的にも時間的にも、食事の内容も、皆さん異口同音にお話があつた通り、幹事さんの素晴らしい企画力のおかげだと思います。 **豊岡重次**

歴史探訪に参加して その4

高さ25mの「さくらであい館」の展望塔から、桂川・宇治川・木津川の合流域、そして八幡市にある石清水八幡宮、桜の名所「背割堤」、天下分け目の天王山、比良山などの晴れて見てよし、雨降りてみてよし、誠に素晴らしい絶景であります。私が下見に訪れた際、何か書きとどめたいという思いに駆られ、創った素人和歌「見渡せば いにしえ偲ぶ山並みも 小雨に煙る 比良山の景」を横山先生に即詠頂いたことは、更に私にとって感動を呼ぶものとなりました。機会があれば春爛漫の時季に、この場に立ち眺めてみたいと思います。 **森田賀秀蒼**

歴史探訪に参加して その5

このたびの歴史探訪で、「楠公父子訣別之所」の碑や「父子の碑」との対面ができたことは、私の吟詠人生において貴重な体験となりました。大楠公と呼ばれる楠木正成、小楠公と呼ばれる息子楠木正行、そして強烈な愛で烈婦と呼ばれる正成の夫人(正行の母)の不滅の忠義に生きる生きざまは、700年後の今日においても多くの吟士の心を打ち、吟詠コンクールでも力強く吟詠されています。私もその一人で、これまでに「小楠公の母を詠ず」や、「楠公子に訣るの図に題す」などを心を込めて吟詠し、吟士権者の栄誉や優秀賞をいただきました。今回の歴史探訪においての感動は、必ずや今後の私の吟詠の詩心表現の大きなエネルギーになると確信しています。 **辛嶋賀秀感**

歴史探訪に参加して その2

今般、久しぶりに実施された「歴史探訪」に参加させていただきました。今回は通算33回目になると思います。今回尋ねた「桜井駅跡」は、平成15年6月にも「歴史探訪」で訪ねたことのあるところですが、当時は林の中にあつたと記憶していますが、今はきれいに整備されていて、逆に歴史をたどる気分浸りにくく感じました。歴史探訪は、吟(漢詩)あつてのことですが、この機会を通して会員相互の親睦を図る大きな役割があると思っています。話したこともない人との会話、食事をしながらの雑談の中からお互いを知り、理解しあう絶好の機会だと思っています。そして吟に対する意欲向上にもつながると思っています。

橋本賀秀司

新入会員ご紹介



山口 勝弘さん(やまぐち かつひろ)
住 所：京都市西京区
入 会：令和5年10月より
クラブ：わかたけ詩吟クラブ

よろしく
お願い封

80歳になり少し手が空くようになり、何か手習いをするところ、詩吟ならば声を出し、健康に良いだろうと考えました。それにかねてより初孫の結婚式に何か目立つこととは考え、詩吟ならば頭の体操にもなり良いかなと思っています。四苦八苦しそうですがご指導よろしくお願ひします。なお、長岡京での大会に参加させていただき、会員の皆さんの美声に酔いしれました。

新入会員ご紹介



山口 澄子さん(やまぐち すみこ)
住 所：京都市西京区
入 会：令和5年10月より
クラブ：わかたけ詩吟クラブ

よろしく
お願い封

猛暑の9月、突然夫が詩吟をやりたいと言い出しびっくりしました。習い事をしたことがないのでなんと…。

人生80歳になって遅すぎると思いながらも思い付いた今がチャンスだと私もお願いすることになり、知らないことを知る喜びに感激しております。快く受け入れてくださった先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。

訃報

砂田洋さん(賀秀博、翠峰会詩吟クラブ)が、11月18日に逝去されました。享年72歳でした。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(事務局)



『ぎんまい長岡京』 編集室
編集委員長 尻枝賀秀道
編集委員 市丸、櫻澤、後藤、宮小路
※連絡・問合せ先 尻枝賀秀道
Tel: 075-954-9092